

第44回 日本分子生物学会年会

特別展示企画 「ナショナルバイオリソースプロジェクト (NBRP) バイオリソース勢ぞろい」

○概要

日時：2021年12月1日（水）- 3日（金）

会場：パシフィコ横浜展示ホール

参加リソース・課題：NBRP全36課題

情報センター、GBIF日本ノード、GAIN、ABS対応、実験動物マウス、ラット、ニホンザル、ニワトリ・ウズラ、ネッタイツメガエル、ゼブラフィッシュ、メダカ、カタユウレイボヤ、ショウジョウバエ、カイコ、線虫、シロイヌナズナ等実験植物/植物培養細胞・遺伝子、イネ、コムギ、オオムギ、ミヤコグサ・ダイズ、トマト、広義キク属、アサガオ、藻類、ゾウリムシ、細胞性粘菌、一般微生物、酵母、原核生物（大腸菌・枯草菌）、病原真核微生物、病原細菌、ヒト臍帯血細胞、ヒト・動物細胞、遺伝子材料、ヒト病原ウイルス、NBRP広報室（リソース寄託・提供相談窓口）

○展示内容

一部の課題（9課題）については、例年通り、リソースの実物展示と専門家による説明や質問の受付を行った。残りの課題については、コロナ感染対策の観点から、ポスターと配布資料によるリソースの紹介を行った。

○結果

- ・参加者総合計：約 6,000名
- ・現地参加割合：オンライン参加割合 = 3,900名：2,100名
- ・出展企業数：116社171小間
（※NBRPの出展小間数を除く）

1) 実物展示課題9小間の訪問者数：約230名

2) 全体として：

- ・昨年度のオンライン出展よりも多くの学会参加者がブースを訪れた。
- ・他方、2019年コロナ前ほどの来訪者は得られておらず、ハイブリッド学会における出展の難しさが課題となった。
- ・実物展示や専門家による解説や質問の受付がなされているブースへの訪問者は無人ブース（ポスターと配布資料のみ）に比べて来訪者が多く見られた。
- ・ポスターと配布資料のみの出展ブースにおいては、予想以上に訪問者が見られ、150部近い資料の持ち帰りがあった。

